

JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2022年2月4日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は, 現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は, 現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	05 電気	廃止	B3551	プログラマブル表示器一用語	Programmable display-Vocabulary	JIS B3502に統合されたため。	—	—	無	2021年12月
JSA	01 基本	廃止	B7440-4	製品の幾何特性仕様(GPS)－座標測定機(CMM)の受入検査及び定期検査－第4部:スキャニング測定	Geometrical Product Specifications (GPS) - Acceptance and reverification tests for coordinate measuring machines (CMM) - Part 4: CMMs used in scanning measuring mode	この規格は、スキャニング測定機能をもつ座標測定機の受入検査及び定期検査について規定するもので、2003年にISO 10360-4:2000を対応国際規格とする一致規格(IDT)として制定された。この対応国際規格は2020年に廃止され、その規定していた内容は同年改正されたISO 10360-5に組み込まれている。ISO 10360-5を対応国際規格とするB7440-5は、当該国際規格の改正に合わせて改正する予定となっているため、B7440-5の改正時に、この規格を廃止する必要がある。	ISO 10360-4:2000 Geometrical Product Specifications (GPS) - Acceptance and reverification tests for coordinate measuring machines (CMM) - Part 4: CMMs used in scanning measuring mode	IDT	無	2021年7月

JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2022年2月4日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	05 電気	廃止	C4431	パワーエレクトロニクス装置—電磁両立性(EMC)要求事項及び試験方法	Power electronic equipment— Electromagnetic compatibility (EMC) requirements and specific test methods	EMC通則規格のIECが改正され、JIS C 4431との不整合も生じてきている一方で、個別製品のEMC規格について改正や制定が進んできている。個別規格が整備される中で、JIS C 4431の役割は一定程度終えたとのことで、廃止する。	—	—	無	2021年12月
JSA	06 電子	廃止	C6181	レーザー放射パワー及びエネルギー測定用検出器、測定器及び測定装置	Power and energy measuring detectors,instruments and equipment for laser radiation	この規格は、IEC 61040:1990 “Power and energy measuring detectors, instruments and equipment for laser radiation” を基に一致規格のJISとしたものであるが、対応国際規格であるIEC 61040が、2011年8月12日に体系の整理統合のため廃止された。我が国においても同様の状況のため、国際標準を国内規格化したJISとしての存在意義を失うこととなった。さらに、この規格を引用する法規類や他の光通信関連の規格もなく、国内独自の規格としての意義も認められないことから、この規格を廃止する。	IEC 61040:1990 Power and energy measuring detectors, instruments and equipment for laser radiation	IDT	無	2021年4月

JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2022年2月4日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	06 電子	廃止	C6839	屋内用テープ形光ファイバコード	Indoor optical fiber ribbon cables	この規格は、屋内用光ファイバケーブルのひとつであり、国際規格IEC 60794-2-30を基にして作成された規格であるが、屋内ケーブルのIEC規格の体系が、 総則 : IEC 60794-2、 品種別通則: IEC 60794-2-10, 60794-2-20, 60794-2-30 とあるのに対し、JISの体系は、 総則 : JIS C 6870-2 品種別通則: JIS C 6870-2-10, 6870-2-20, JIS C 6839 と整合していないため、JIS C 6839をJIS C 6870-2-30として移行するのが望ましい。 また、対応国際規格であるIEC 60794-2-30が2019年に改訂されたため、これを反映するにあたり、JIS C 6870-2-30を新規に制定し、この規格を廃止する。	IEC 60794-2-30:2003, Optical fibre cables – Part 2-30: Indoor cables – Family specification for optical fibre ribbon cables	MOD	無	2021年1月
JSA	05 電気	廃止	C60721-2-8	環境条件の分類—第2—8部: 自然環境の条件—火災	Classification of environmental conditions – Part 2: Environmental conditions appearing in nature – Section 8: Fire exposure	対応国際規格が廃止されており、他のJISに引用されていないため。	IEC 60721-2-8:1994 Classification of environmental conditions – Part 2: Environmental conditions appearing in nature – Section 8: Fire exposure	IDT	無	2020年12月

JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2022年2月4日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	07 情報	廃止	X3005-13	データベース言語SQL 第13部:Javaプログラム言語を用いるSQLルーチン及び型(SQL/JRT)	Information technology - Database languages - SQL - Part 13: SQL Routines and Types Using the Java™ Programming Language (SQL/JRT)	技術動向の変化から、このJISの活用が望めないため。	ISO/IEC 9075-13:2003 Information technology - Database languages - SQL - Part 13: SQL Routines and Types Using the Java™ Programming Language (SQL/JRT)	IDT	無	2020年12月
JSA	07 情報	廃止	X4165	フォント関連識別子の登録手続き	Procedures for registration of font-related identifiers	対応するISO/IEC 10036が廃止されたため。	ISO/IEC 10036:1996 Information technology - Font information interchange - Procedures for registration of font- related identifiers ISO/IEC 10036:1996/COR 1:2001 Information technology - Font information interchange - Procedures for registration of font- related identifiers - Technical Corrigendum 1	IDT	無	2021年12月

JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2022年2月4日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は, 現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は, 現行JISの英文名 称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国 際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	07 情報	廃止	X4178	XMLフォーム言語(XForms) 1.0	XForms 1.0	HTML 5の進展によって, このJISで定めるXFormsは使われなくなったため。	—	—	無	2020年12月
JSA	07 情報	廃止	X6939	情報技術—事務機器—複写生産性測定方法	Information technology - Office equipment - Method for measuring digital copying productivity	技術動向の変化から, このJISの活用が望めないため。	ISO/IEC 24735:2009 Information technology — Office equipment — Method for measuring digital copying productivity	MOD	無	2020年12月

JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2022年2月4日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	07 情報	廃止	X9401	情報技術—クラウドコンピューティング—概要及び用語	Information technology -- Cloud computing -- Overview and vocabulary	関連する国際規格において、この規格の対応国際規格であるISO/IEC 17788:2014を含め、クラウドコンピューティングに関する用語が一つの規格に集約されることとなり、ISO/IEC 22123-1として2021年2月に制定された。このような国際規格の動きに対応して、JISにおいてもクラウドコンピューティングの用語について規定しているJIS X 9401をISO/IEC 22123-1に対応して、クラウドコンピューティングの規格群として新たに制定することとなり、これに伴いJIS X 9401を同時に廃止する必要がある。	ISO/IEC 17788:2014 Information technology — Cloud computing — Overview and vocabulary	IDT	無	2021年7月
JSA	01 基本	廃止	Z8201	数学記号	Mathematical Symbols	この規格は数学記号を規定しており前回の改正以来40年を経ている。その間に対応国際規格であったISO 31-11は、ISO 80000規格群(量及び単位)の一部となり、ISO 80000-2として制定されている。 ISO 80000規格群はJIS Z 8000規格群として多くのJISに引用されて、量、単位記号の表記及び使い方の拠り所となっている。その中でISO 80000-2は、今般の科学技術を記述するために“集合”、“行列”、“座標系”、“スカラー、ベクトル、テンソル”等の数学記号を含んでおり、JISでもこれらの記号の拠り所となる規格が必要となっている。 こうした中で、この規格に代わり、JISの国際整合化のためにISO 80000-2を基としJIS Z 8000規格群の一部としたJIS Z 8000-2“量及び単位:数学記号”の制定を予定しているため、この規格を廃止する必要がある。	—	—	無	2021年8月